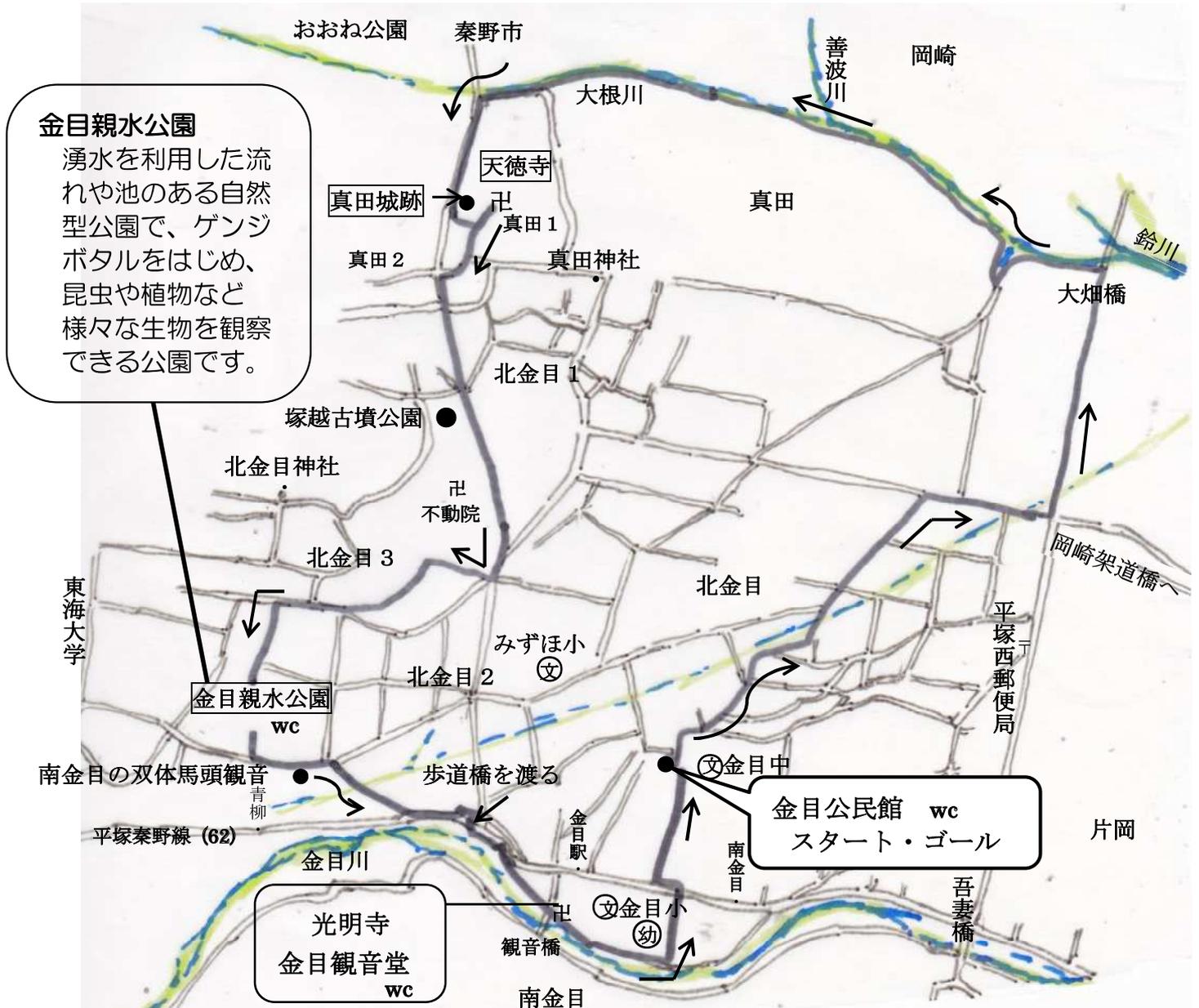
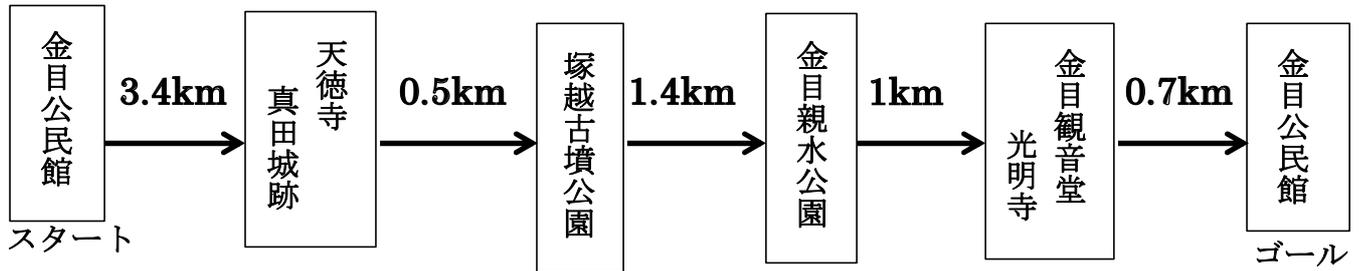


②③ 金目の里を歩いて「金目観音堂」へ 約7km 約2時間20分



真田城址と天徳寺の由来

真田與一義忠公（さなだよいちよしたただこう）は、三浦義継の四男岡崎城主、岡崎四朗義実の嫡子（ちやくし）であり、その居城が真田城です。義忠公 25 歳の時、源頼朝伊豆拳兵の折、討ち死にしました。一説に義忠公はこの時、痰が咽につまり討たれたことにより、喘息・痰咳の神（真田明神）として崇められています。天徳寺は天徳元年に美濃国に創建された曹洞宗のお寺です。第七世住職義翁盛訓禅師（ぎおうせいくんぜんじ）は戦乱を避けるため、天正年間ころ天徳寺を真田の地に移し、義忠公の菩提を弔いました。